

水産物



宮城県 SANRIKUブランド水産物輸出プロジェクトチーム 『三陸産水産物をシンガポールやフィリピン等へ』

【主な品目】

サバ、サンマ、ギンザケ、カキ、イクラ等

【主な輸出先国・地域】

シンガポール、フィリピン、タイ等

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成28年9月、三陸地域の水産会社7社の共同出資により輸出販売の法人設立。
- ◆ 東南アジア諸国を中心に、約50品目以上の三陸産水産加工品を混載により輸出。
- ◆ 現地スーパーマーケットや日本食レストラン等にて統一ブランドSANRIKUで展開。

【輸出実績】（平成28年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	2,500	20	通年

【効果があった取組】

・複数の地域事業者の連携体による共同輸出から、通年供給体制の確保、ブランド力の向上、輸送ロットの確保、経営リスクの軽減化等、海外輸出に優位な展開が図られた。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 海外輸入業者及び小売業者等の三陸産水産加工品に対する理解不足。
- ・ 三陸地域の水産会社7社による共同輸出体制（商流・物流）の調整・構築。
- ・ 新規マーケットにおける三陸産水産物のコンテナ単位での販売数量の確保。

【生じた課題への対応】

- ・ 現地日本食レストランを活用した試食会による提案と三陸招聘及び視察研修。
- ・ 共同出資法人を中心とした商流等ルール作りと仙台港を拠点とした物流構築。
- ・ 末端の大手小売業者等の獲得と輸入業者との販売計画調整により物量確保。

【対応の結果】

- ・ 商品・産地の優位性、消費者への提案方法等の理解度と自信が増し取引成約。
- ・ 三陸地域の水産会社7社による共同輸出体制が構築され恒常的な取引可能に。
- ・ 販売先の軸となる末端を押さえるとともに、広範なマーケットへの拡散が可能に。

【今後の課題・展望】

- ・ 海外市場ニーズに即した食味・規格・パッケージへの改善と新商品開発。
- ・ 海外消費者の三陸産水産物の認知度向上とブランディングに向けた販促活動。
- ・ ムスリム市場や中東諸国及びアフリカ諸国等の新規マーケットの開拓。

【活用した支援・施策】「平成28年度 新しい東北 輸出拡大モデル事業（復興庁）」

【ウェブサイト】 -

【連絡先】 担当者名：代表取締役 森岡、TEL：03-6903-3205



海外日本食レストランにおける小売業者への試食提案会



海外バイヤーの産地招へいと加工場視察研修



海外スーパーマーケットにおけるプロモーション活動